



2. 茨城空港の現状

令和6年8月1日

茨城県営業戦略部空港対策課

茨城空港利用促進等協議会

茨城空港開港までの歴史

1938(昭和13)年 ● 旧日本海軍百里ヶ原航空隊が飛行場を開設

1956(昭和31)年 ● 航空自衛隊の基地設置が決定

1966(昭和41)年 ● 7月 航空自衛隊百里基地が発足

1970(昭和45)年 ● 5月 滑走路補強事業に着手

1993(平成 5)年 ● 10月 茨城県が「百里飛行場民間
共用化可能性調査」を実施

1995(平成 7)年 ● 8月 茨城県が「百里飛行場民間共用化構想」を発表

2000(平成12)年 ● 4月 運輸省(当時)において事業化される(事業着手)

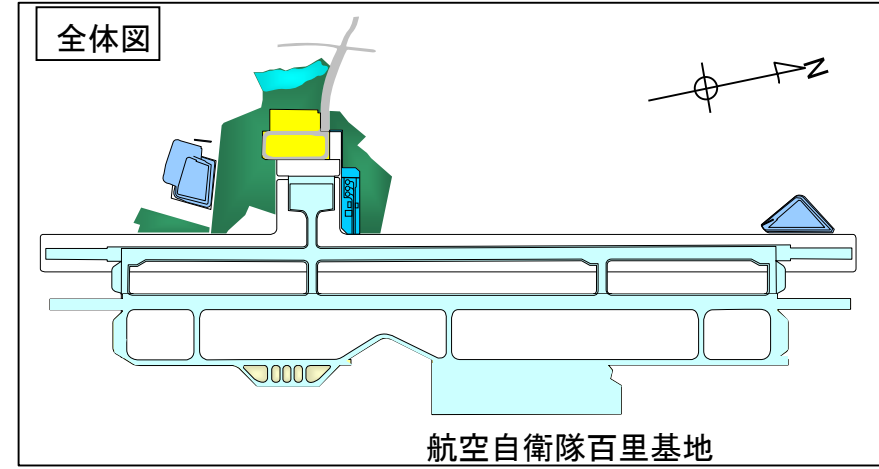
2005(平成17)年 ● 4月 国土交通省百里飛行場事務所が開設
7月 百里飛行場民間共用化事業起工式

2007(平成19)年 ● 1月 公募の結果、愛称が「茨城空港」に決定

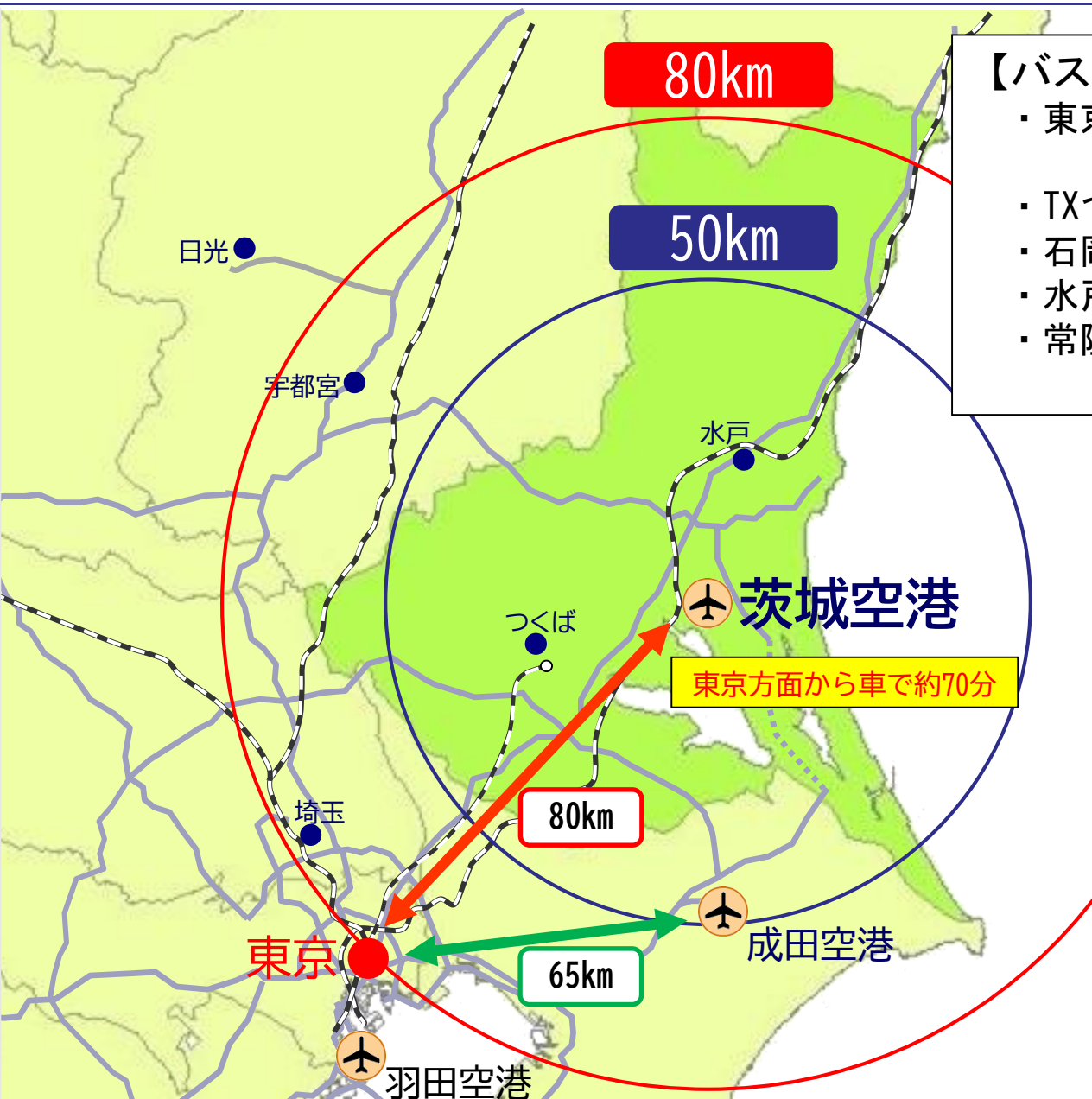
2008(平成20)年 ● 12月 新滑走路完成

2009(平成21)年 ● 11月 国土交通大臣から航空法の規定に基づく告示がなされ、開港日が平成22年3月11日に決定

2010(平成22)年 ● 3月11日 茨城空港開港



茨城空港の位置、交通アクセス



【バスでのアクセス】

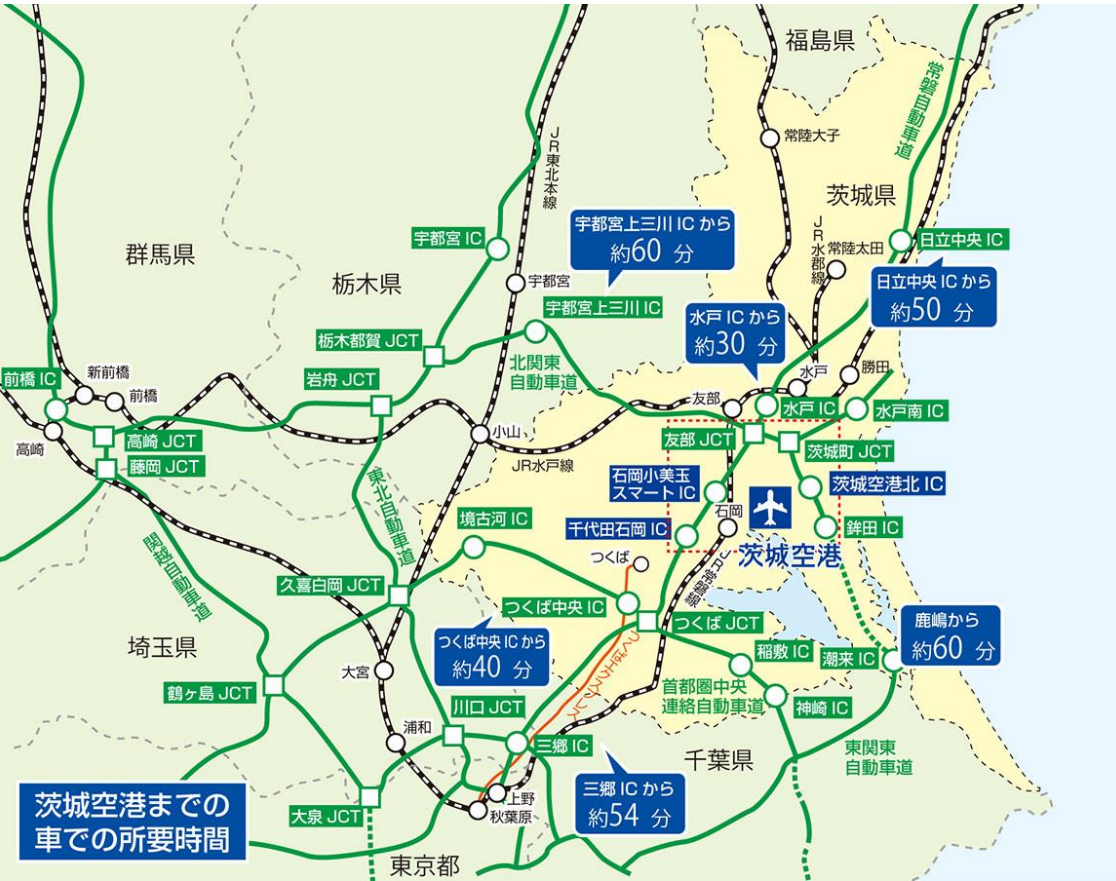
- ・ 東京駅（日・木のみ 1 往復）
約100～140分
- ・ TXつくば駅（運休中）
- ・ 石岡駅（10～13便/日） 約30～35分
- ・ 水戸駅（10～13便/日） 約40～70分
- ・ 常陸太田・ひたちなか方面
（毎日1往復） 約80～140分

【車でのアクセス】

- ・ 水戸市 約35分
- ・ つくば市 約45分
- ・ 日立市 約55分



茨城空港の道路ネットワーク



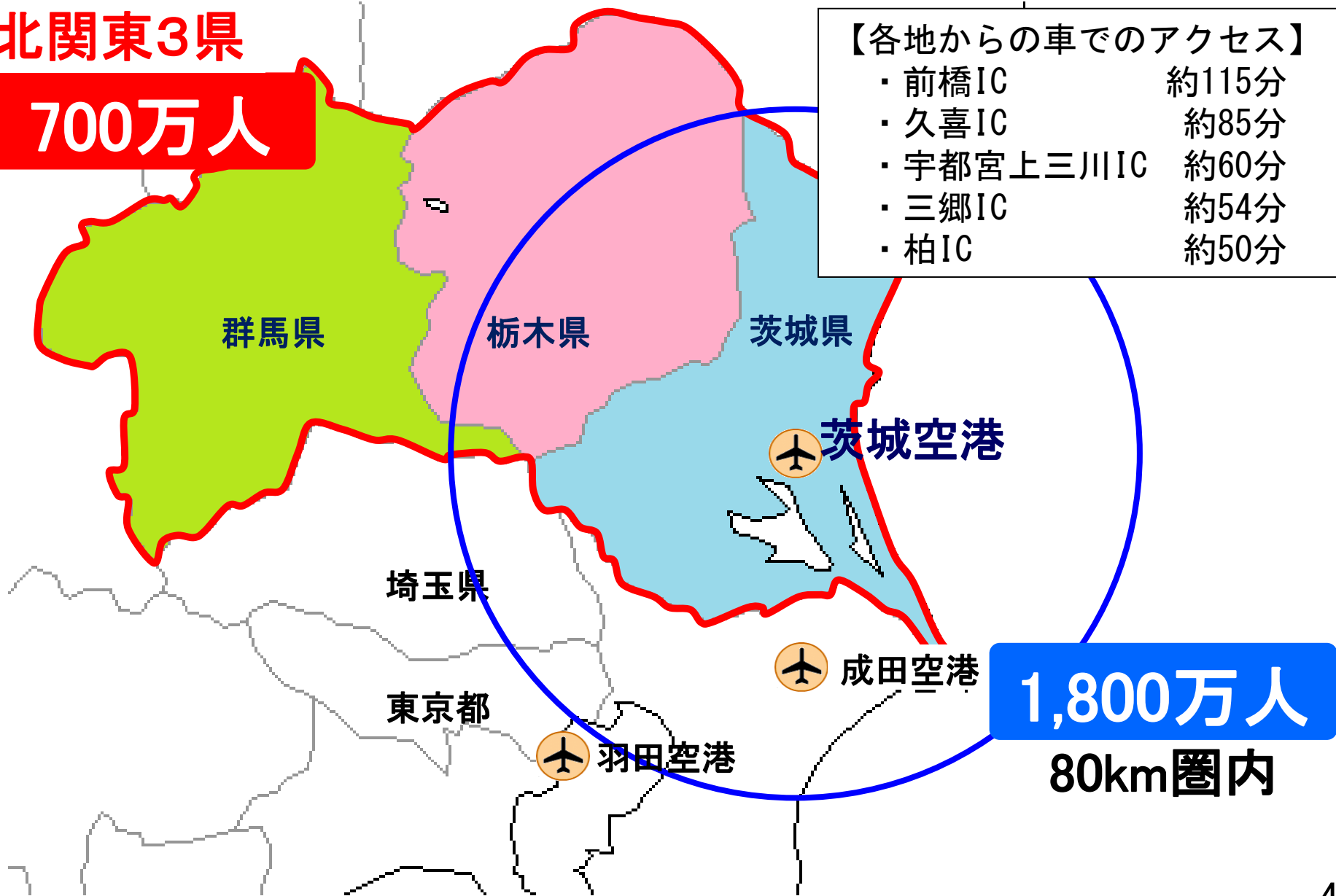
茨城空港の周辺人口

北関東3県

700万人

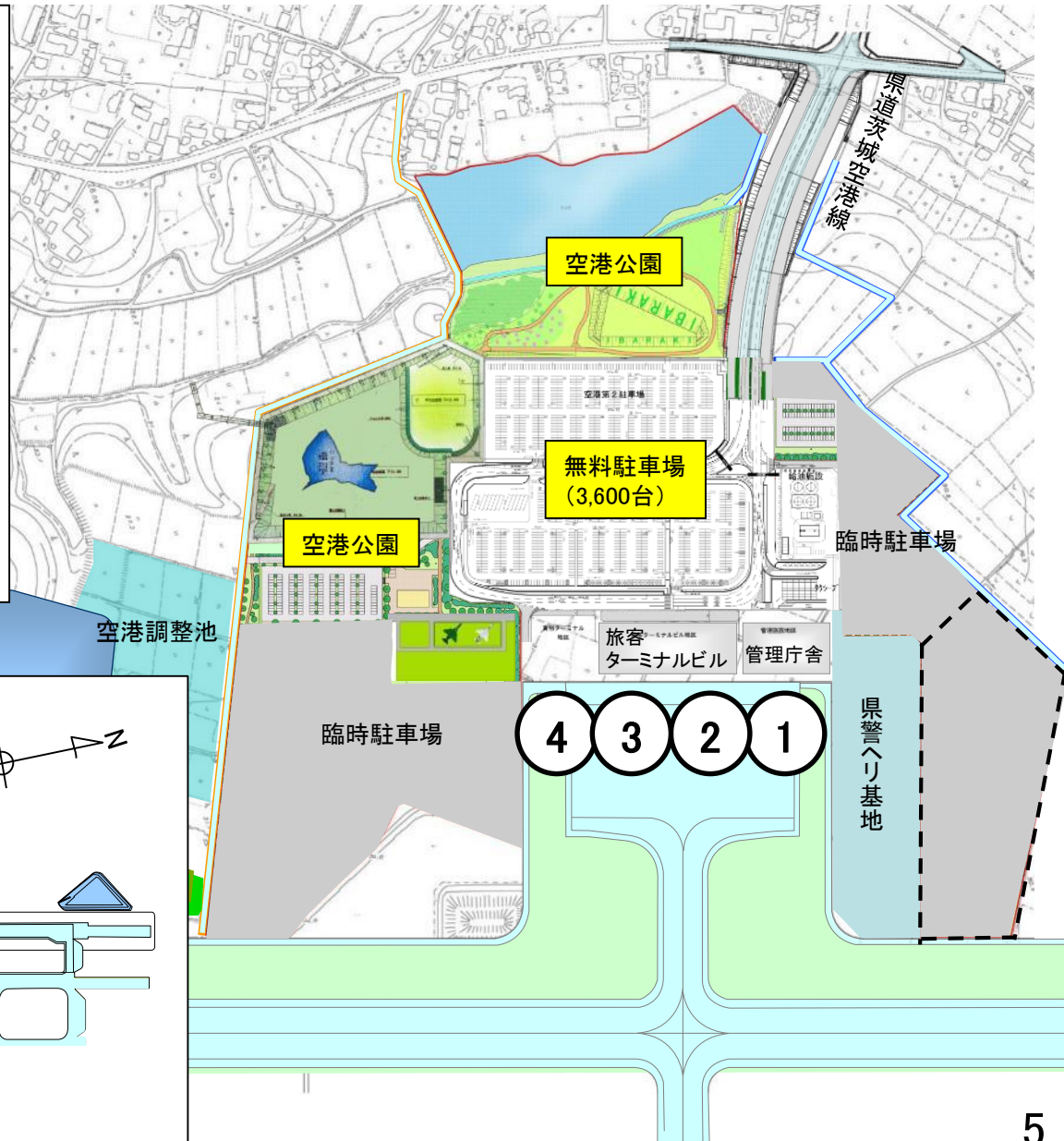
【各地からの車でのアクセス】

- ・ 前橋IC 約115分
- ・ 久喜IC 約85分
- ・ 宇都宮上三川IC 約60分
- ・ 三郷IC 約54分
- ・ 柏IC 約50分

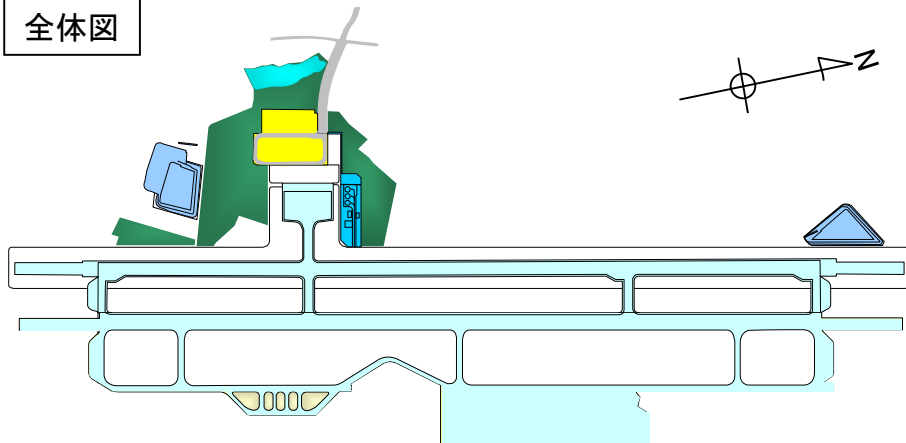


茨城空港の概要①

空港の名称	茨城空港 (百里飛行場)
IATAコード	IBR
ICAOコード	RJAH
空港の種類	共用空港
設置管理者	防衛省
滑走路	2,700m×2本 (精密進入は東側のみ)
駐機スポット数	4
運用時間	7:30-21:00
開港日	H22(2010)年3月11日



全体図



航空自衛隊百里基地

茨城空港の概要②

ハード関係	現状
1-1 滑走路	
延長	2,700m×45m×2本
舗装強度	A滑走路：PCN45 B滑走路：PCN50
1-2 誘導路	取付誘導路 1本
1-3 駐機場（エプロン）	
スポット数	4スポット（中型4）
舗装強度	PCN54
1-4 旅客ターミナルビル	延べ床面積：国内・国際／8,254㎡
旅客カウンター	国内1、国際1
P B B	なし
保安検査場	国内1レーン、国際1レーン
手荷物仕分け場	国内1レーン、国際1レーン
待合室	国内173席、併用125席、国際137席
C I Qスペース	
テナントスペース	11区画
1-5 貨物施設、フォワーダー	敷地面積：約450㎡（上屋約80㎡）
1-6 給油施設	レフューラー方式タンク（200kl）2基 燃料供給量1,450kl/月
1-7 駐車場	3,668台（無料駐車場）



※取付誘導路1本のみ、並行誘導路はなし

旅客ターミナルビル概要

ソフト関係		現状
2	2-1 路線	【定期便】国内線：4路線、7往復/日 国際線：1路線、2往復/週 *運休路線除く
	2-2 運用時間	07：30～21：00
	2-3 グランドハンドリング体制	スカイマーク、羽田タートルサービス
	2-4 C I Q体制	税関・入管・検疫
	2-5 運営方法	ターミナルビル：茨城県開発公社
	2-6 2次交通関係 (バス、タクシー等)	アクセスバスの運行、レンタカー



茨城空港駐車場、ターミナルビル



茨城空港ターミナルビル（出発ロビー）



旅客カウンター

旅客ターミナルビル の 現状

【ターミナルビル】
旅客ハンドリングは
1階フロアのみを使用



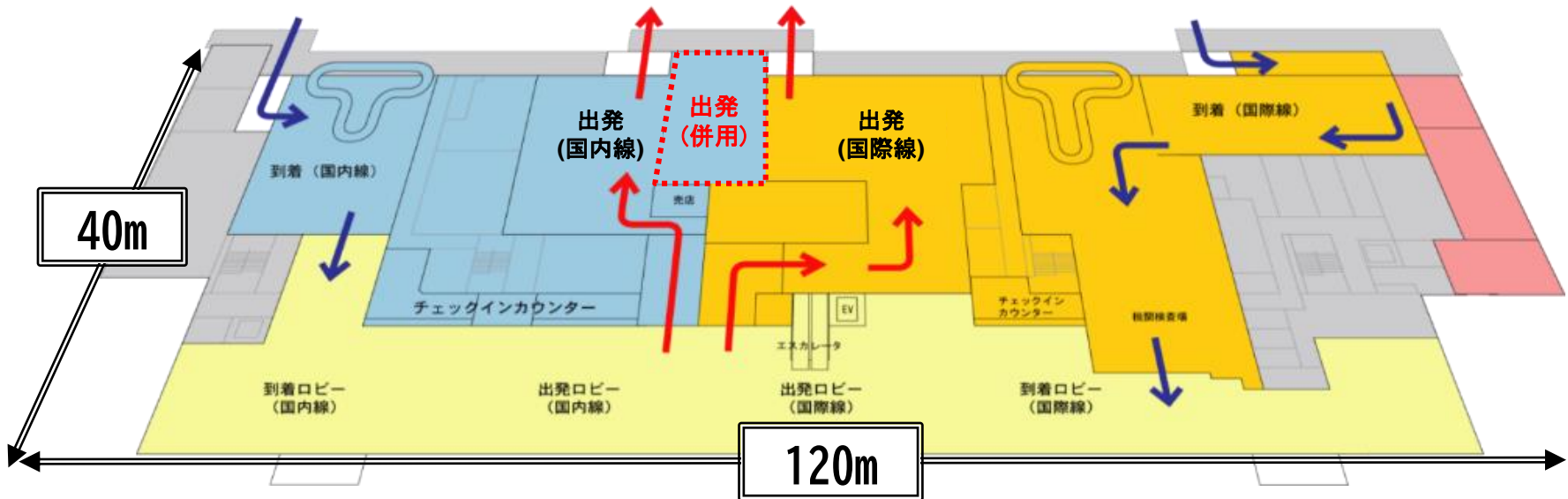
搭乗待合室

国内173席
国際137席
上記以外に
内際併用125席



バゲージクレーム

国内 1 箇所
国際 1 箇所



旅客カウンター
国内 1 箇所
国際 1 箇所



ロビー (検査場前)

保安検査場
国内 1 箇所
国際 1 箇所

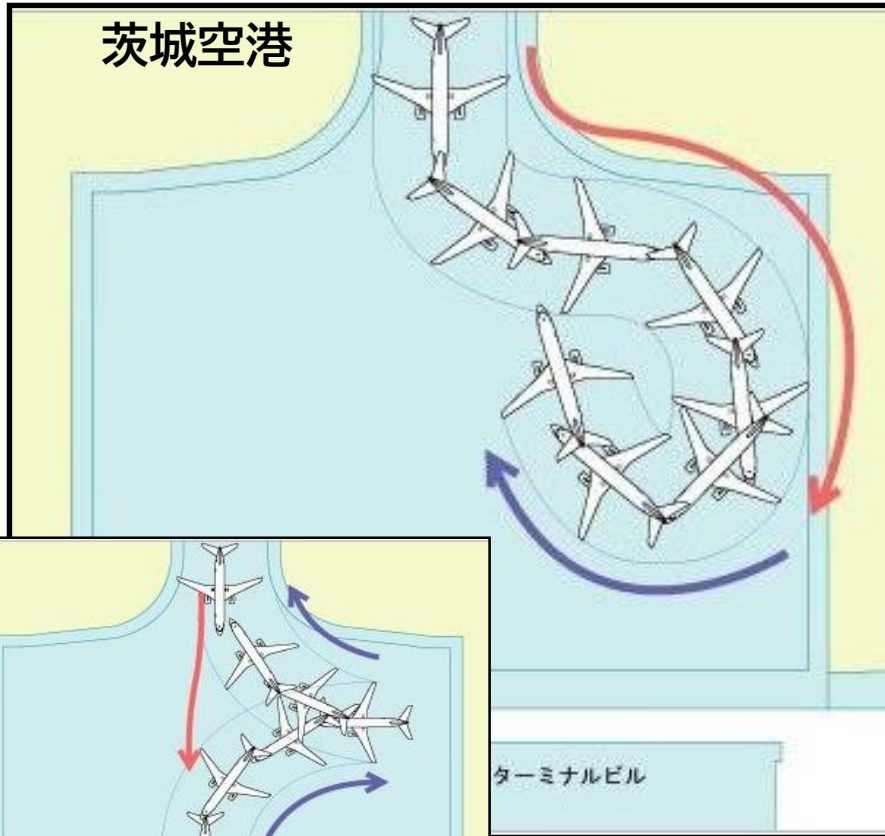
CIQスペース

テナントスペース
物販 5 店舗
飲食 2 店舗
レンタカー 1 店舗

エプロンにおける運用の現状

自走式によるスポットイン／スポットアウト
(中型機 4 機分のOpenSPOT)

タラップによる搭乗
(旅客搭乗橋はなし)



雨風を防ぐエプロンルーフ



一般的な空港

旅客ターミナルビル

現在の就航路線



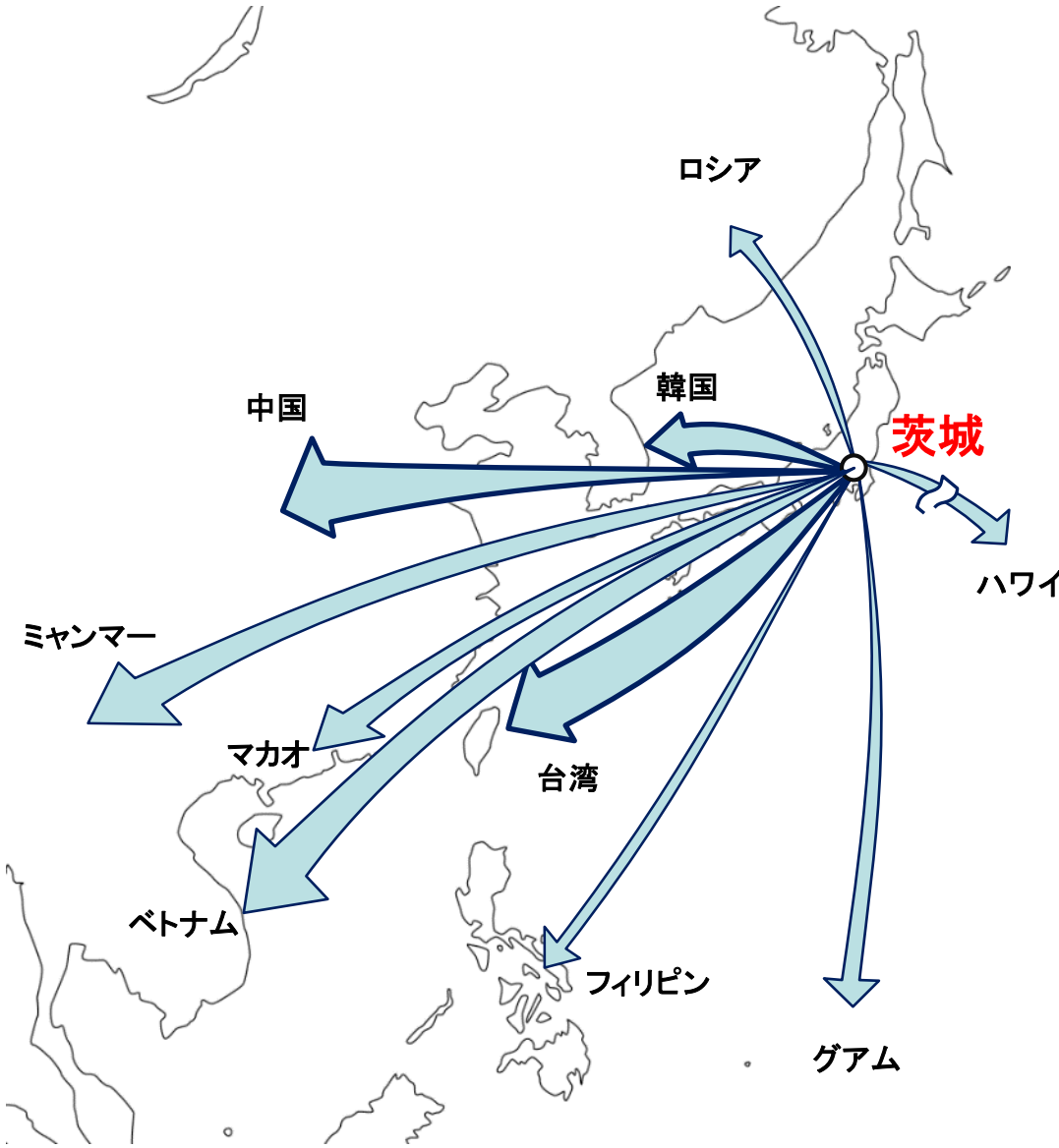
○国内線

札幌(新千歳)	(スカイマーク) 2往復/日
神戸	(スカイマーク) 3往復/日
福岡	(スカイマーク) 1往復/日
那覇	(スカイマーク) 1往復/日
宮古(下地島)	(スカイマーク) 1往復/日 ※神戸又は那覇乗継
長崎	(スカイマーク) 2往復/日 ※神戸乗継
鹿児島	(スカイマーク) 1往復/日 ※神戸乗継

○国際線

上海(浦東)	(春秋航空)	運休中
西安(咸陽)	(春秋航空)	運休中
台北(桃園)	(タイガーエア台湾)	2往復/週
連続チャーター便 高雄	(タイガーエア台湾)	3往復/週 ※運航期間: 2024.4.2~10.24

国際チャーター便の運航実績



年度	国・地域	主な目的地
09 ・ 10 (92)	台湾 (55)	台北・花蓮
	中国 (20)	上海・海南島・重慶など
	マカオ (4)	
	アメリカ (6)	グアム(4)・ハワイ(2)
	ロシア (4)	ハノイ・ウラジオストク
	フィリピン (2)	セブ島
	韓国 (1)	務安
11 (12)	台湾 (8)	台北
	韓国 (4)	済州島
12 (28)	韓国 (18)	ソウル、済州島
	台湾 (8)	台北
	マカオ (2)	
13 (14)	韓国 (4)	済州島
	ミャンマー (10)	ヤンゴン、マンダレー
14 (20)	台湾 (4)	台北
	中国 (16)	ハルビン
15 (8)	ベトナム (4)	ハノイ
	台湾 (4)	台北
16 (16)	ベトナム (4)	ダナン・ハノイ
	韓国 (12)	済州島
17 (53)	台湾 (31)	台北
	韓国 (22)	済州島・ソウル
18 (122)	台湾 (118)	台北
	ベトナム (4)	ホーチミン
19 (148)	ベトナム (8)	ホーチミン、ハノイ、ダナン
	中国 (138)	長春、福州、南京
	アメリカ (2)	ハワイ
22 (6)	韓国 (6)	ソウル
23 (70)	韓国 (6)	ソウル
	台湾 (60)	高雄
	中国 (4)	福州
計	589便	

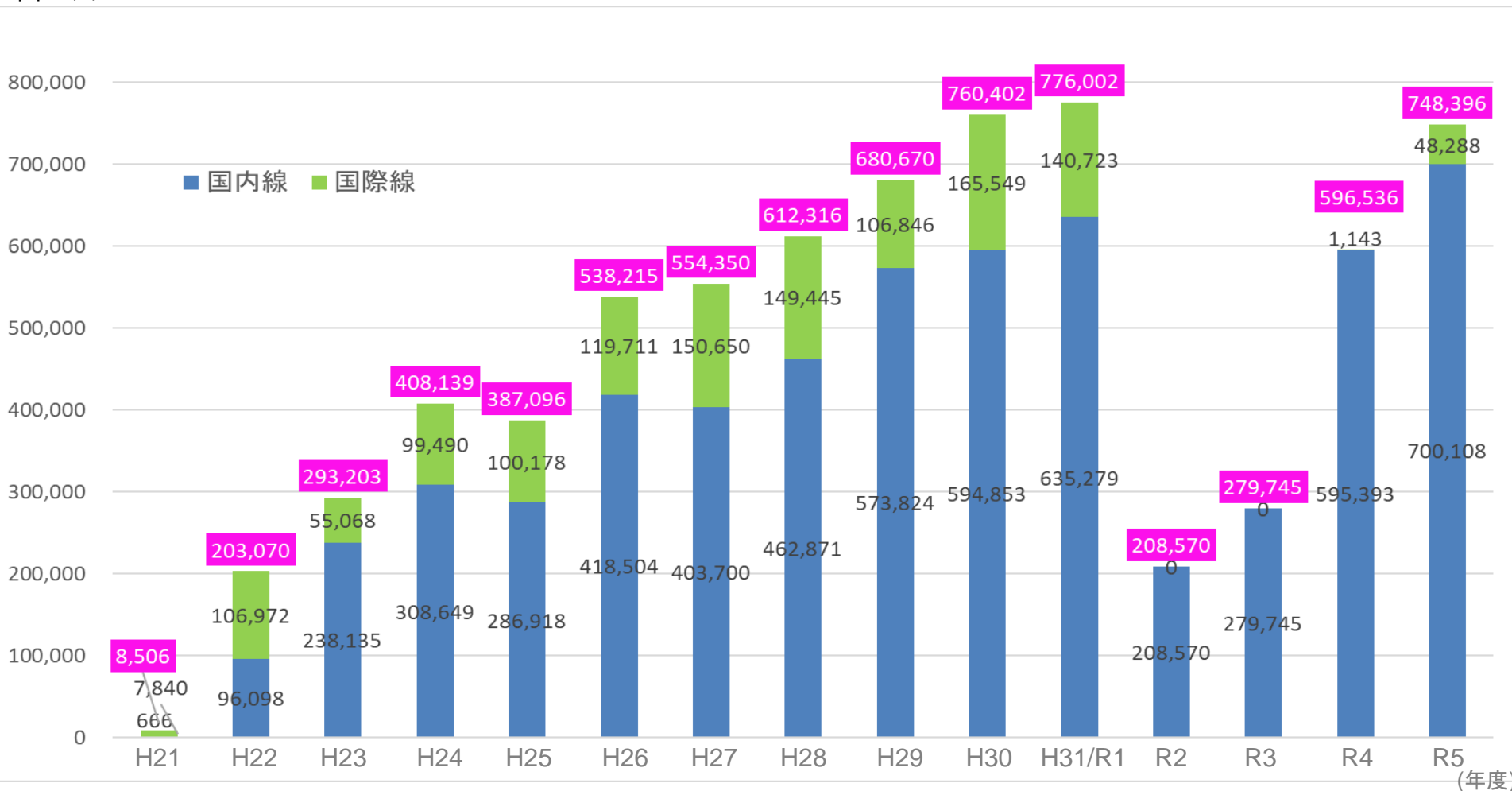
国内チャーター便の運航実績



年度	目的地
09 (4)	羽田、神戸
11 (2)	関空
15 (29)	札幌、沖縄
16 (8)	稚内、久米島・宮古島
17 (22)	小松、広島、種子島、長崎
18 (60)	利尻、稚内、中標津、小松、隠岐、岡山、広島、高松、鹿児島、種子島、長崎、与那国・宮古
19 (80)	利尻、稚内、中標津、帯広、花巻、小松、富山、静岡、南紀白浜、隠岐、広島、鳥取、岡山、松山、種子島、鹿児島、奄美大島、長崎、与那国・宮古
21 (18)	小松、隠岐、高知、種子島、遊覧飛行 (14) 那覇 (4)
22 (27)	稚内、中標津、小松、広島、隠岐、出雲、名古屋(小牧)、種子島、奄美大島・石垣島、遊覧飛行 (25) 中部国際 (2)
23 (11)	隠岐、種子島、名古屋(小牧)、高知、遊覧飛行
計	261便

旅客実績（開港以来）

単位：人



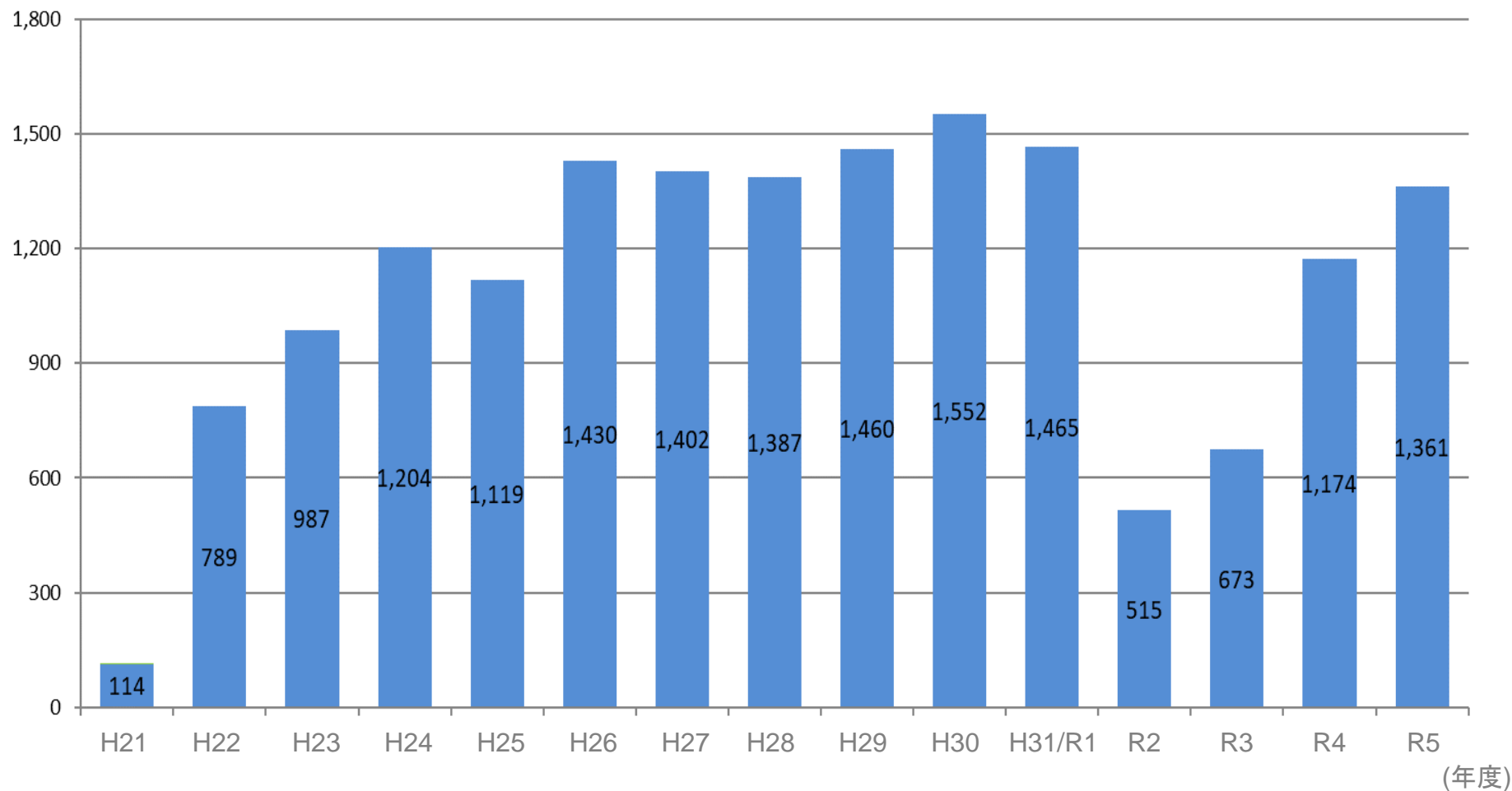
- ソウル便
就航
- 上海便
神戸便
札幌便
就航
- 那覇便
就航
- 福岡便
就航
- 台北便
深セン便
杭州便
就航
- FDA
初就航
- ソウル便
台北便
就航
- 西安便
就航

※ 東京航空局公表値

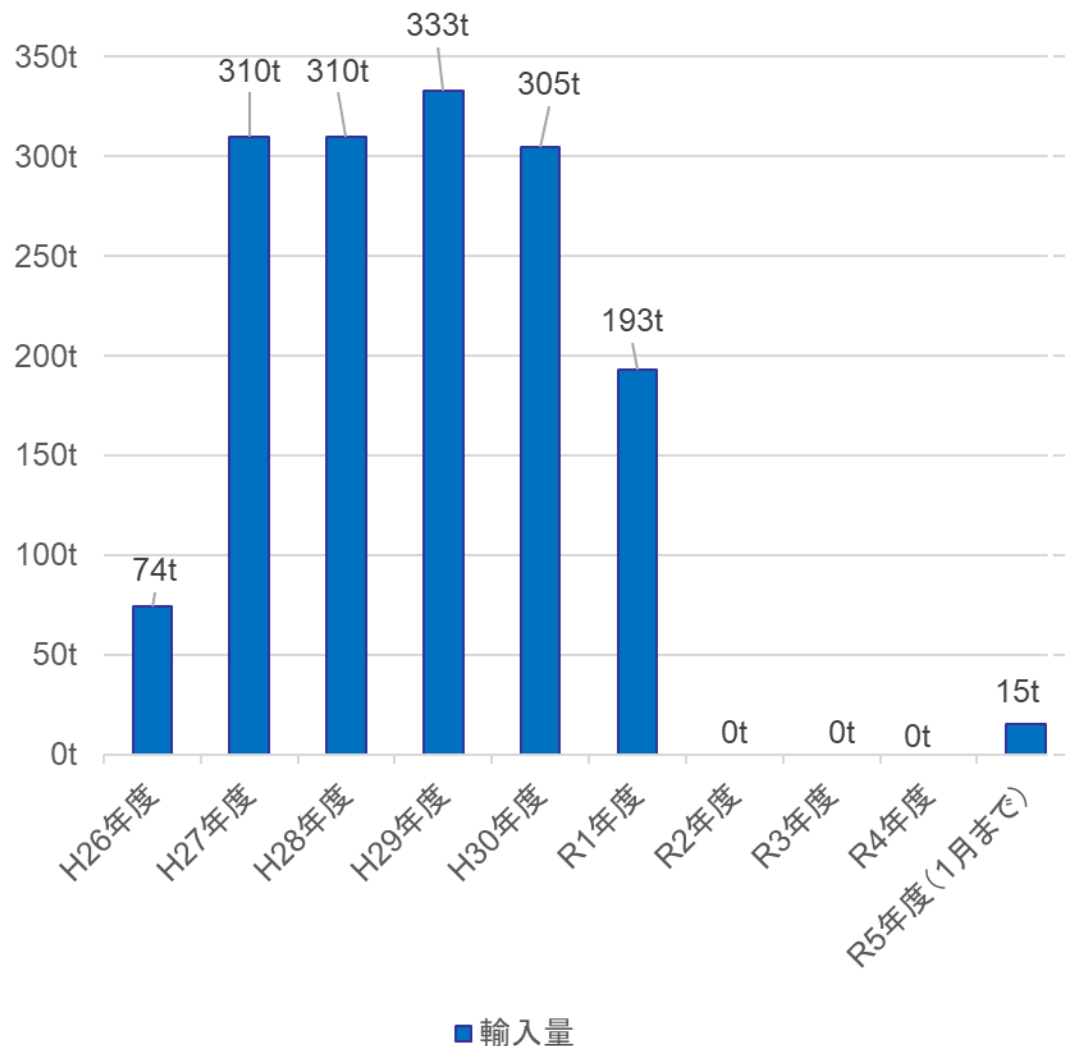
ターミナルビル来場者数（開港以来）



(単位:千人)



※ 空港ビル調べ



【取扱状況】

- ・ H27～ 上海便にて本格的に取扱開始 (品目：衣類・雑貨等)
- ・ R2. 1～ 上海便減便に伴い、取扱休止
- ・ R2. 2～ 上海便運休
- ・ R5. 8～ 上海便運航再開
- ・ R5. 9～ 貨物取扱再開 (品目：衣類・雑貨等)
- ・ R5. 10～ 上海便運休に伴い 取扱休止
※R5. 9～10 取扱便数11便

【設備関係】

- ・ H28 貨物上屋整備
- ・ H29 計量器整備



貨物上屋



計量器

※トラックヤードの設置はなし

弾力的な運用開始（R5.10月末～）

茨城空港における航空便の乗り入れについて、茨城県、防衛省航空自衛隊百里基地および国土交通省東京航空局百里空港事務所の三者において、令和5年10月29日より、以下の運用を行うことが確認された。

- 民航機の1時間当たりの着陸便数に関し、当面1便を基本とする運用については、これまでの運用状況等を踏まえ、空港の運用に支障がない範囲で、弾力的に受け入れる。
- 国際線ビジネスジェットについては弾力的に受け入れる。

今後、着陸便数の増加や、ビジネスジェットによる利用の増加など、さらなる空港の利活用促進が期待される。

ビジネスジェットの乗り入れ実績

- (1) 期 間：令和6年5月25日、26日（2日間）
- (2) 目 的：羽田—茨城間の宣伝飛行
- (3) 事 業 者：マイクロジェット(株)（航空運送事業）
 (株)SKYTREK（旅行業）
- (4) 運航ダイヤ：計6往復（1日3往復×2日間）
- (5) 搭乗者数：計24名（4名×6往復）
- (6) 使用機材：米国セスナ社510型サイテーション・マスタング(最大乗客数4名)



- (7) 宣伝飛行の翌日の5月27日より、茨城空港を発着する便の予約販売を開始